



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社メディカルネット 上場取引所 東
コード番号 3645 URL <https://www.medical-net.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 平川 大
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部ゼネラルマネージャー (氏名) 三宅 大祐 TEL (03)5790-5261
四半期報告書提出予定日 2024年4月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	3,655	17.0	231	△11.0	251	△12.0	46	△66.7
2023年5月期第3四半期	3,125	20.6	260	△30.6	285	△23.7	139	△58.0

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 62百万円 (△60.0%) 2023年5月期第3四半期 156百万円 (△54.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	5.13	—
2023年5月期第3四半期	15.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	3,669	1,966	53.0
2023年5月期	3,467	1,929	55.3

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 1,944百万円 2023年5月期 1,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	11.1	380	0.3	360	△16.7	214	84.6	23.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ミルテル、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期3Q	10,773,000株	2023年5月期	10,773,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	1,727,730株	2023年5月期	1,727,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期3Q	9,045,270株	2023年5月期3Q	8,932,373株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は、当社Webサイト(<https://www.medical-net.com/ir/library/>) に本日掲載いたします

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「インターネットを活用し 健康と生活の質を向上させることにより 笑顔を増やします。」をミッションとして掲げております。このミッションの下、メディカルネットグループは、歯科医療プラットフォームビジネスを軸に、口腔周りから全身の健康を導き、笑顔溢れる世界を創るヘルステック企業として、事業を展開しております。生活者がより良い治療を自ら選択でき、事業者の持続的な成長をサポートするサービスを提供し、世界中の人々の健康と成長を生涯にわたって支援する事業への発展を目指しています。この目標を達成するために、インターネットを活用したサービスの提供にとどまらず、歯科器材・医薬品の卸、医薬品の開発・製造や、タイにおける歯科医院の運営をしております。

こうしたなか、当社グループは、既存事業のさらなる効率化を進めるとともに歯科業界でのメディカルネットグループ経済圏を構築し、歯科医療業界のデジタル化の中核を担うプラットフォームの確立を進めております。さらに、口腔周りから始まる健康寿命増進プラットフォームビジネスという新たなサービスの構築に取り組み事業を拡大したことにより、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。一方で、事業拡大のための人員増により人件費が増加したことや、プロモーションを積極的行ったことなどにより営業利益は前年同四半期比で減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,655,683千円（前年同四半期比17.0%増）、営業利益は231,716千円（前年同四半期比11.0%減）、経常利益は251,720千円（前年同四半期比12.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46,413千円（前年同四半期比66.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① メディア・プラットフォーム事業

メディア・プラットフォーム事業は、「口腔周りから健康な社会の実現」のため、価値ある情報の提供を目的に、当社グループが運営するポータルサイトを通して生活者に有益な歯科情報や美容情報、ヘルスケア情報をお届けしております。当第3四半期連結累計期間において、生活者によりよい情報をお届けするための歯科系新メディアをリリースしたことに加え、Googleのコアアルゴリズムアップデートへの対応が進んだことや、依然として歯科自由診療への需要が高いことにより、歯科クリニックの広告出稿意欲は高く、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は836,511千円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は467,708千円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

② 医療機関経営支援事業

医療機関経営支援事業においては、SEMサービス及びHP制作・メンテナンスサービス、歯科医院運営、歯科器材・医薬品販売、医薬品・医薬部外品の製造・販売、歯科医院の事務代行・開業支援・経営支援等を行っております。

1. SEMサービス

クライアントのHPへの訪問数を増やすために、SEOサービス及びリスティング広告の運用代行サービスを行っております。

SEOサービスにおいては、アクセス増加と順位対策を同時に行えるサービスが好調に推移し、継続的な収益の獲得に努め、また、リスティング広告においては、多様化・細分化するユーザーニーズに応えるべく、従来のYahoo!、Googleのリスティング広告、LINEに加え、TikTok広告などの運用代行を開始するなどサービスの拡充に努めた結果、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

2. HP制作・メンテナンスサービス

主に「からだ」・「健康」・「美」に関連する事業者（歯科医院、エステサロン等）をクライアントとしてHP制作・メンテナンスサービス等を提供しております。情報過多な現代において、専門知識がなくとも手軽に情報を取得・発信できるようになった背景もある中で、生活者のためになる正確な情報発信をしております。受注制作案件を確実に積み上げ、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

3. 歯科医院運営

タイ・バンコクの連結子会社及び連結子会社（孫会社）において歯科医院を3院運営しており、患者様ファーストをモットーに人材育成、組織開発を行い、日本の医療を現地タイで展開しています。その結果、3院ともバ

ンコクの頼れるインターナショナルクリニックへの成長を遂げ、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

4. 歯科商社事業

2023年11月に、連結子会社である株式会社オカムラを存続会社、株式会社オカムラOsakaを消滅会社とする吸収合併を完了しております。

国内の連結子会社、及びタイ・バンコクの連結子会社（孫会社）2社において、歯科商社事業を行っております。

特に、東京と大阪の2拠点体制を取っている国内において、大阪での事業が好調に推移したことにより、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

5. 医薬品・医薬部外品の製造・販売

連結子会社（孫会社）において、医薬品・医薬部外品の製造・販売を行っております。主力製品であるプライベートブランド商品の販売強化により、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

6. 歯科医院の事務代行・開業支援・経営支援・不動産販売

歯科医院の開業から経営支援までのワンストップサービスを提供しております。不動産事業が本格稼働し、着実に販売実績を積み上げたことに加え、経営支援サービスの契約数が増加いたしました。また、積極的な人材の採用も継続し、結果として売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,705,150千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益は115,253千円（前年同四半期比81.3%増）となりました。

③ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、歯科医療従事者のための総合情報サイト「Dentwave.com」での広告ソリューションの提供を中心とし、リサーチ、コンベンションの運営受託等、様々なサービスを行っております。

歯科関連企業の広告出稿動向は、従来、学会や展示会等リアルな場での活用が主でしたが、コロナ禍においてWEB広告の需要が高まり、普及いたしました。現在は学会や展示会の機会も復活し、広告手法の選択肢が増えたことにより、歯科関連企業のWEB広告への投資比率が低下し、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は103,943千円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益は4,706千円（前年同四半期比83.9%減）となりました。

④ その他

管理業務受託事業等においては、経理、人事総務等の管理業務を受託し、サービスを提供しております。

また、当第3四半期連結会計期間の2024年1月に連結子会社化した株式会社ミルテルは、本セグメントに含めております。同社はサイエンスソリューションプロバイダとして、受託臨床検査サービス等を提供しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,077千円（前年同四半期比270.7%増）、セグメント損失は27,850千円（前年同四半期はセグメント利益2,718千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,669,646千円となり、前連結会計年度末に比べ202,286千円（前連結会計年度末比5.8%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ202,286千円増（前連結会計年度末比5.8%増）の3,669,646千円となりました。これは主に、現金及び預金が79,804千円、長期前払費用が36,732千円減少いたしましたが、受取手形及び売掛金が107,635千円、商品が140,458千円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ164,733千円増（前連結会計年度末比10.7%増）の1,703,073千円となりました。これは主に、未払法人税等が52,035千円減少いたしましたが、買掛金が102,932千円、短期借入金が150,551千円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ37,552千円増（前連結会計年度末比1.9%増）の1,966,572千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益46,413千円の計上と、剰余金配当22,613千円を行ったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年7月18日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,518,550	1,438,746
受取手形及び売掛金	693,749	801,385
商品	123,968	264,427
前渡金	57,666	56,104
その他	84,900	147,329
貸倒引当金	△19,260	△18,960
流動資産合計	2,459,574	2,689,032
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	31,233	34,329
土地	40,920	40,920
その他（純額）	39,280	53,629
有形固定資産合計	111,433	128,878
無形固定資産		
のれん	293,642	262,305
その他	12,311	9,546
無形固定資産合計	305,954	271,851
投資その他の資産		
投資有価証券	62,152	59,202
長期貸付金	44,521	41,949
長期前払費用	296,107	259,374
繰延税金資産	49,935	63,348
その他	185,182	206,367
貸倒引当金	△47,502	△50,359
投資その他の資産合計	590,397	579,884
固定資産合計	1,007,785	980,614
資産合計	3,467,360	3,669,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,933	425,865
短期借入金	680,480	831,032
1年内返済予定の長期借入金	27,727	63,421
未払法人税等	90,816	38,780
賞与引当金	—	21,819
その他	315,959	217,082
流動負債合計	1,437,916	1,598,001
固定負債		
長期借入金	82,622	90,943
退職給付に係る負債	11,065	6,487
その他	6,735	7,642
固定負債合計	100,423	105,072
負債合計	1,538,340	1,703,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	337,314	337,314
利益剰余金	1,710,467	1,734,267
自己株式	△443,718	△443,718
株主資本合計	1,890,097	1,913,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,229	4,031
為替換算調整勘定	24,689	26,224
その他の包括利益累計額合計	26,919	30,255
非支配株主持分	12,002	22,418
純資産合計	1,929,020	1,966,572
負債純資産合計	3,467,360	3,669,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	3,125,576	3,655,683
売上原価	1,874,763	2,337,385
売上総利益	1,250,812	1,318,297
販売費及び一般管理費	990,453	1,086,581
営業利益	260,359	231,716
営業外収益		
受取利息及び配当金	591	1,114
未払配当金除斥益	53	45
為替差益	21,661	20,583
受取保険金	3,180	—
貸倒引当金戻入額	740	744
その他	3,930	2,688
営業外収益合計	30,159	25,176
営業外費用		
支払利息	3,272	3,866
投資事業組合運用損	732	1,276
その他	517	28
営業外費用合計	4,522	5,171
経常利益	285,995	251,720
特別利益		
固定資産売却益	1,662	2,558
特別利益合計	1,662	2,558
特別損失		
投資有価証券評価損	40,000	4,269
減損損失	—	91,218
その他	56	—
特別損失合計	40,056	95,488
税金等調整前四半期純利益	247,602	158,790
法人税、住民税及び事業税	102,944	111,330
法人税等調整額	△8,270	△14,208
法人税等合計	94,674	97,122
四半期純利益	152,928	61,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,470	15,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,457	46,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	152,928	61,667
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	778	1,801
為替換算調整勘定	2,549	△952
その他の包括利益合計	3,328	849
四半期包括利益	156,256	62,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,397	62,373
非支配株主に係る四半期包括利益	7,858	143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2023年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	769,240	2,236,970	116,646	3,122,858	2,718	3,125,576
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	213	17	233	—	233
計	769,243	2,237,184	116,664	3,123,091	2,718	3,125,809
セグメント利益	460,719	63,561	29,228	553,510	2,718	556,228

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	553,510
「その他」の区分の利益	2,718
全社費用（注1）	△297,165
その他の調整額（注2）	1,296
四半期連結損益計算書の営業利益	260,359

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラット フォーム事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	836,511	2,705,150	103,943	3,645,605	10,077	3,655,683
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9	9	—	9
計	836,511	2,705,150	103,953	3,645,615	10,077	3,655,692
セグメント利益又は損失 (△)	467,708	115,253	4,706	587,668	△27,850	559,817

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業、受託臨床検査事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	587,668
「その他」の区分の利益	△27,850
全社費用（注1）	△329,343
その他の調整額（注2）	1,242
四半期連結損益計算書の営業利益	231,716

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機関経営支援事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、14,678千円であります。

「その他」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、76,539千円であります。